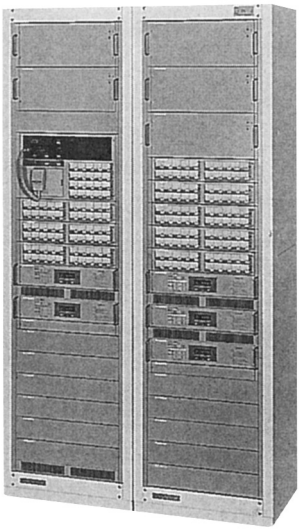
Victor

# 取扱説明書

## インテリジェントPAシステム

型名 **EM-E504VD** シリーズ 非常用放送設備
**EM-E506VD** シリーズ 非常用放送設備
**EM-E508VD** シリーズ 非常用放送設備
**EM-E518VD** シリーズ 非常用放送設備
**EM-A200** シリーズ 増設用増幅器（ラック型）



写真は EM-E518VD シリーズです。

**販売店様へ**
本システムの設定状態を11ページに記入のうえ、お客様へお渡しください。

**－ お買いあげありがとうございます －**

ご使用の前にこの「**取扱説明書**」と「**安全上のご注意**」を
よくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

SS961188-001

# 目次


特長 ……2
保証とアフターサービスについて ……2
保守点検契約のおすすめ ……2
正しくお使いいただくために ……3
操作説明図について ……3
外観図例 ……4
ネームカードの記入のしかた ……5
非常通常操作器の各部の名称とはたらき ……6
ポケットカバー内の各部の名称とはたらき ……9
モニターの各部の名称とはたらき ……9
ミキサーの各部の名称とはたらき ……10
マトリックスコントロールユニットの各部の名称とはたらき ……10
非常放送の動作について ……11
非常放送のしかた ……12
自動音声警報の種類と内容について ……14
通常放送のしかた ……15
1．非常通常操作器からのマイク放送 ……15
2．ミキサーユニットからの放送 ……16
3．ブロック放送について ……18
4．通常放送の優先関係について ……19
5．マトリックスコントロールユニットと多元放送について ……20
緊急時、もし機器が動かなくなったら ……20
日常点検について ……21
仕様 ……22


# 特長

■大規模な建築物まで対応できる非常放送設備です。
■消防法施行規則、技術基準に対応した自動音声警報機能の搭載により、非常時のより的確な情報伝達と誘導放送が可能です。
■非常放送は、液晶表示による文字表示により、確実な操作が可能です。
■180回線のスピーカー回線を非常ブロック、通常ブロック、BGMブロック各放送、タイマー、ページングなど機能別/用途別に任意のグループにまとめて、放送できます。
■通常放送の優先順位を、必要に応じ設定可能です。
■コンピューターによる自動診断機能により、機器の異常状態を液晶表示と電子音で知らせます。
■BGM、呼び出し放送、定時放送、コマーシャルなどを多元で放送できます。
■本機は非常通常遠隔操作器により離れた場所から放送が行えます。
■多棟建築物の場合、防災センターなどに設置した総合操作部より、各棟に設置した本システムをコントロールすることができます。(詳しくはお買い上げ販売店またはビクター営業所までお尋ねください。)

# 保証とアフターサービスについて

**■保証書の記載内容ご確認と保存について**
この商品には、ユニットごとに保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

**■保証期間について**
保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

**■保証期間経過後の修理について**
保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。

**■アフターサービスについてのお問い合わせ先**
その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

**■修理を依頼されるときは**
修理を依頼されるときは、お手数でももう一度使用状況をお調べください。それでも具合いが悪いときは、非常電源専用ブレーカを切って次のことをお知らせください。
・機種名：ラック上部の型式名表示をご覧ください。
(例) EM-E518VDシリーズ
・できるだけ詳しい故障の状態
・ご購入年月日　ご住所　ご氏名　電話番号

# 保守点検契約のおすすめ

非常用放送設備は消防法で定期点検が義務づけられています。

・非常用放送設備を設置した防火対象物の関係者は、当該設備の定期点検を実施し、その結果を所轄消防長または、消防署長に報告しなければならない。

・点検者は、消防用放送設備を設置した防火対象物のうち政令で定めるものにあっては、消防設備士免状の交付を受けている者または、自治大臣が認める資格を有するものでなければならない。

消防法　第17条3の3要約

このように資格及び専門知識を必要とするため、外部に委託し、点検報告を代行させることが「保守契約制度」です。
お買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口の有資格者が保守点検を申し受けしますので、お問い合わせの上保守点検契約を締結いただきますようおすすめいたします。

# 正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。その内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

**絵表示の例**

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。




⃠記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

**警告**




■ この機器を分解・改造しないでください。火災、感電、誤動作の原因となります。本機の移動や、システムの変更などを行うときは、お買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口へご相談ください。

■ 本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと機器内部の温度が上昇し、火災の原因となります。
■ 本機の内部に水・金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
火災や故障の原因となります。

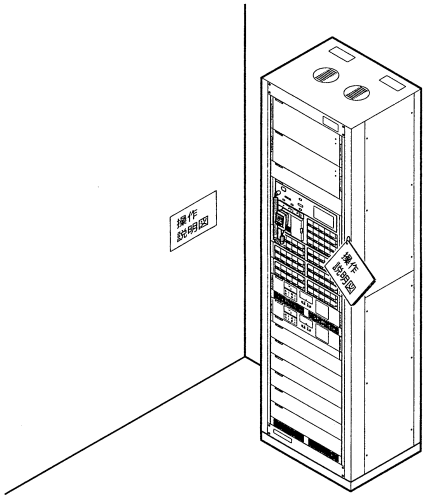
■ 万一、煙がでている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源分電盤のスイッチを切り、お買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
■ 落雷により不具合が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

**注意**

■ 本機用の電源分電盤のスイッチは保守点検時や緊急時以外には切らないでください。
本機は、停電時にも放送できるよう非常用蓄電池を内蔵し常に充電しています。
■ 本機の周囲に物を置かないでください。
非常時の操作の妨げにならないように左右0.5m以内、操作面前方2m以内には物を置かないでください。

# 操作説明図について

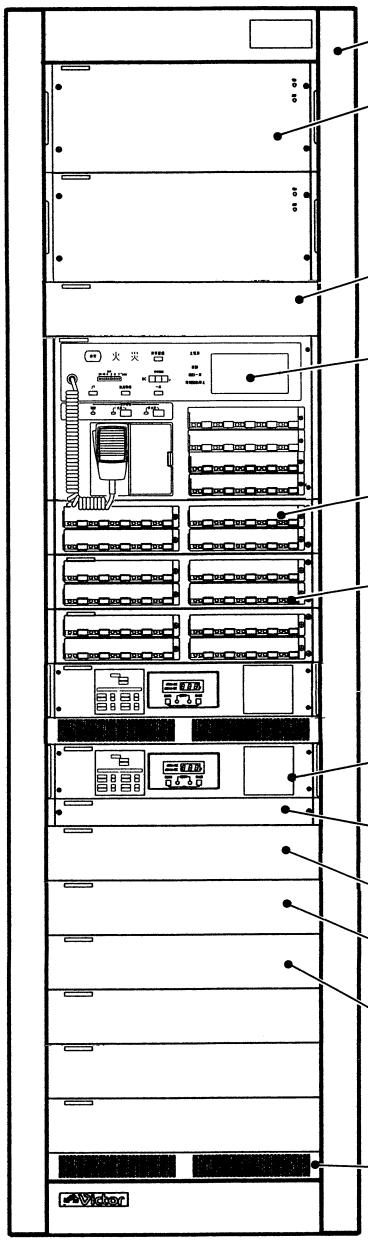
付属の**操作説明図**は非常時に確実に操作できるように
本機の近くに掲示してください。



# 外観図例

## EM-E508VDシリーズ

720W　80回線の時



PA-R641 標準ラックケース

EM-A364 360W パワーアンプ ×2

PA-U2 ブランクパネル×1

EM-E56VD 非常通常操作器

EM-E12 回線追加ケース ×3

EM-E5 回線追加ユニット ×14

EM-N112 非常電源ユニット ×2

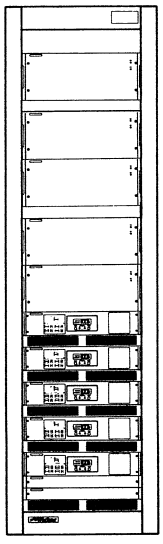
EM-P11 主電源ユニット ×1

EM-V52D 音声警報ユニット ×1

EM-Y52 主入力制御ユニット ×1

EM-Y522 回線制御ユニット×4

PA-U1V ベンチレートパネル ×2



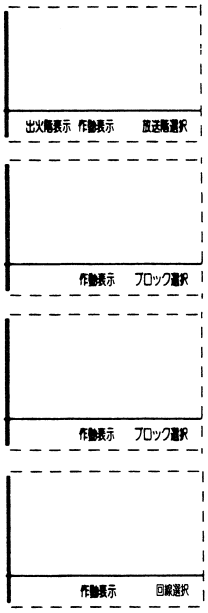
EM-A200シリーズ
増設用増幅器（ラック型）

# ネームカードの記入のしかた

・付属のネームカードに放送先の名称を記入し、切りはなしてご使用ください。
（既に設置時に記入されている場合があります。）

## 非常ブロック放送方式のとき

・赤、緑、黄、白４色のカードをお使いください。




赤

緑

黄

白

**・非常ブロック選択スイッチ用**
非常ブロック選択スイッチ列に使います。したがって非常放送専用となります。スイッチの表示は放送階選択スイッチとなります。

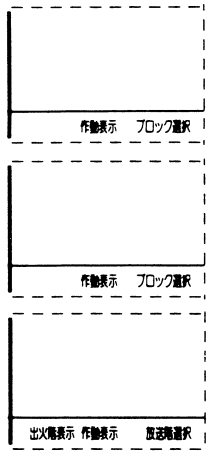
**・通常ブロック選択スイッチ用**
通常ブロック選択スイッチ列に使います。
（通常専用となりますので、出火階表示はありません。）

**・BGMブロック選択スイッチ用**
BGMブロック選択スイッチ列に使います。
（通常専用となりますので、出火階表示はありません。）

**・回線選択スイッチ（通常専用）用**
スピーカ回線ごとの選択スイッチとして使います。このスイッチは、非常放送時には使えません。
（通常専用となりますので、出火階表示はありません。）

## 同一階放送方式のとき

・緑、黄、紫３色のカードをお使いください。




緑

黄

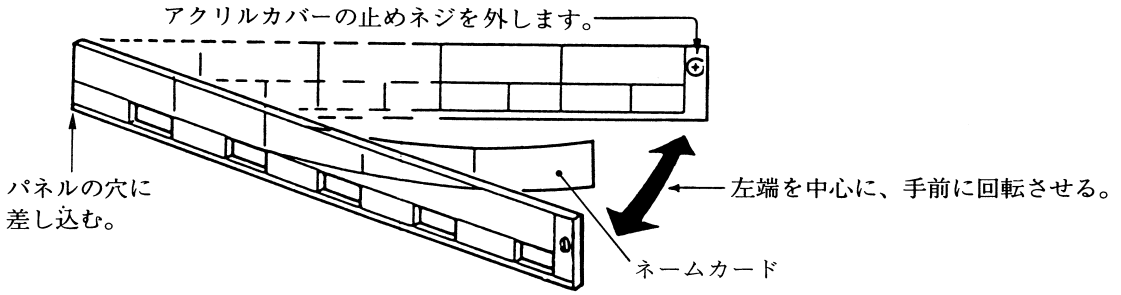
紫

**・通常ブロック選択スイッチ用**
通常ブロック選択スイッチ列に使います。
（通常専用となりますので、出火階表示はありません。）

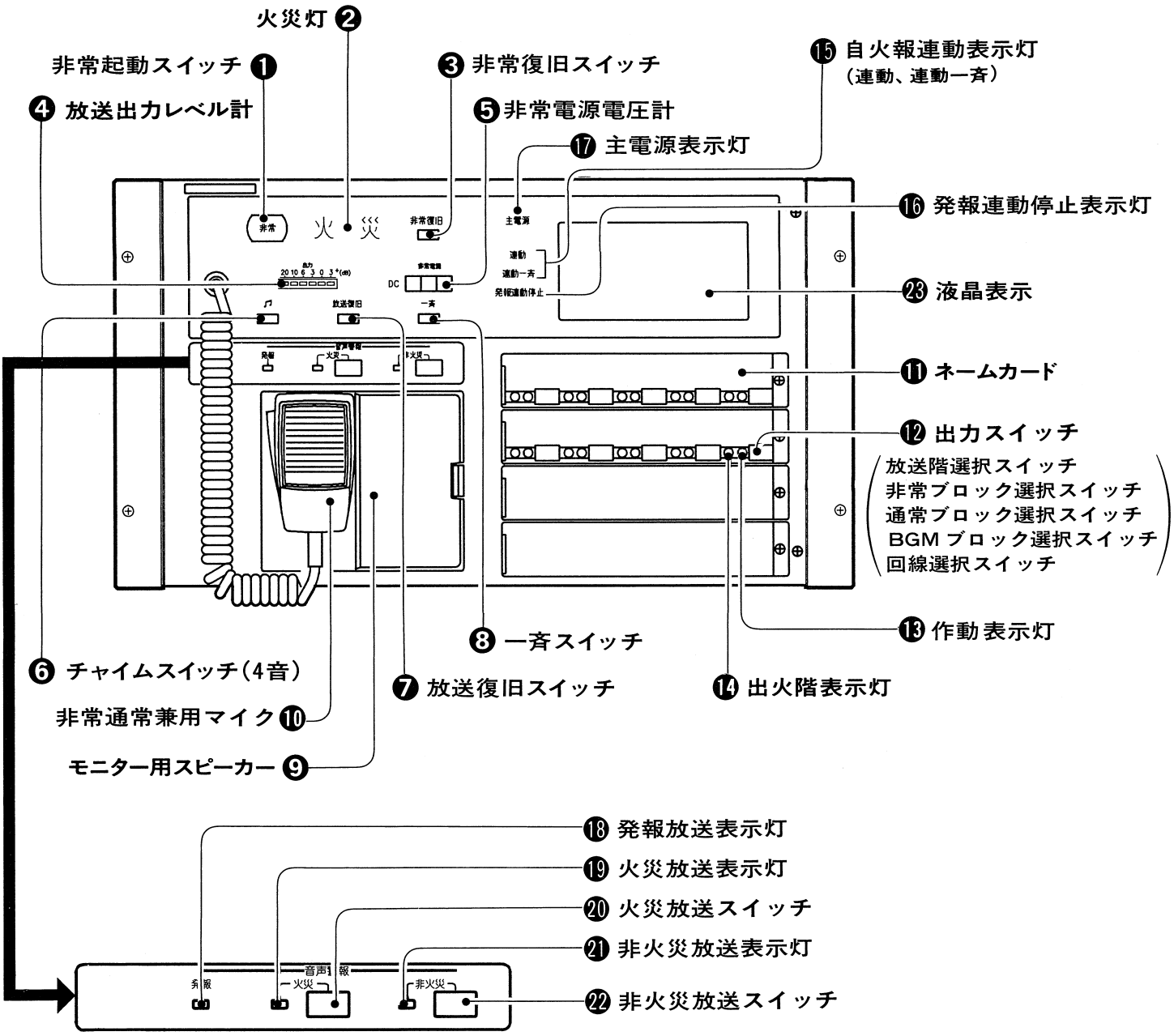
**・BGMブロック選択スイッチ用**
BGMブロック選択スイッチ列に使います。
（通常専用となりますので、出火階表示はありません。）

**・放送階選択スイッチ（通常、非常）用**
スピーカ回線ごとの選択スイッチとして使います。
このスイッチは非常通常兼用となります。

・記入後は、ネームカードをアクリルカバーの凹部へはめた後、パネルに止めネジで固定します。



# 非常通常操作器(EM-E56VD)の各部の名称とはたらき



❶ **非常起動スイッチ**
・手動で非常放送をする時に押します。

❷ **火災灯**
・自動火災報知設備等から信号を受信した時と、手動で非常起動スイッチを押した時、点灯します。

❸ **非常復旧スイッチ**
・非常放送終了時に押します。

❹ **放送出力レベル計**
・放送される音のレベルを表示します。なるべく緑色が点灯する範囲内に音量を設定してください。

❺ **非常電源電圧計**
・蓄電池電圧を表示します。
・正常の時は24V～29V前後を表示します。

❻ **チャイムスイッチ**
・通常放送時に押すと4音チャイムが鳴ります。
(ド・ミ・ソ・ド)

❼ **放送復旧スイッチ**
・通常放送時に押すと放送終了となります。
・非常放送時に押すと選択してあった回路がすべて復旧されます。(非常状態は保持されます)

❽ **一斉スイッチ**
・非常または通常時、全回線一斉に放送する時に押します。

❾ **モニター用スピーカー**
・放送をモニターします。
非常通常兼用マイクのスイッチを押すと、モニター音は停止しハウリングを防止します。

❿ **非常通常兼用マイク**
・マイクスイッチを押しながら放送します。

⓫ **ネームカード**
放送先名称を記入します。
・非常ブロック選択スイッチ用…赤色
・通常ブロック選択スイッチ用…緑色
・BGMブロック選択スイッチ用 ….黄色
・回線選択スイッチ用……白色
・放送階選択スイッチ用……紫色

⓬ **出力スイッチ**
・本体からの放送時に、放送先を選択します。
このスイッチは、非常放送方式の設定によって、次のように機能が異なります。方式に関しては、お買い上げ販売店、保守点検業者にご相談ください。

**非常ブロック放送方式のとき**

㋑非常ブロック選択スイッチ〔赤ネームカード〕
(放送階選択表示) 非常専用
非常放送時、階別に放送する時に押します。
㋺通常ブロック選択スイッチ〔緑ネームカード〕
(ブロック選択表示) 通常専用
通常時、ブロック放送する時に押します。
㋩BGMブロック選択スイッチ〔黄ネームカード〕
(ブロック選択表示) 通常専用
BGM放送する時に押します。
**復旧するときは再度押します。**
㋥回線選択スイッチ〔白ネームカード〕
(回線選択表示) 通常専用
回線ごとに放送する時に押します。
※㋺、㋩、㋥の出火階表示灯は点灯しません。

**同一階放送方式を選択したとき**

㋑通常ブロック選択スイッチ〔緑ネームカード〕
(ブロック選択表示) 通常専用
通常時、ブロック放送する時に押します。
㋺BGMブロック選択スイッチ〔黄ネームカード〕
(ブロック選択表示) 通常専用
BGM放送する時に押します。
**復旧するときは再度押します。**
㋩放送階選択スイッチ〔紫ネームカード〕
(放送階選択表示) 非常通常兼用
回線ごとに放送する時に押します。ただし、スイッチ表示は非常用放送設備として放送階選択と表示されています。
※㋑㋺は出火階表示灯は点灯しません。

⓭ **作動表示灯**
・自動火災報知設備からの起動や、⓬の放送階選択スイッチ、一斉スイッチを押すことによって「緑色」に点灯し、その回線に放送できることを示します。
・放送時又は、サービスチェック時にスピーカー回線が短絡すると、その回線の作動表示が点滅し、液晶画面に「短絡」の表示となり、スピーカー回線を自動的に切り離します。したがって、そのスピーカーからは放送が出力されませんので、ご留意ください。

⓮ **出火階表示灯**
・感知器や発信機等の発報場所を示します。

⓯ **自火報連動表示灯(連動、連動一斉)**

⓰ **発報連動停止表示灯**
・自動火災報知設備からの火災信号受信時の動作状態を示します。

⓱ **主電源表示灯**
・常用電源(AC100V)で使用中、点灯します。
(停電時消灯)

⓲ **発報放送表示灯**
・発報放送中であると、点灯します。
発報放送中にマイクで放送した後や、発報放送の自動音声終了後の火災音信号(ピーッ、ピーッ、…)が鳴動中は点滅します。

⓳ **火災放送表示灯**
・火災放送中であると、点灯します。
火災放送中にマイクで放送した後などは点滅します。

⓴ **火災放送スイッチ**
・火災放送(火災時の自動音声)を放送する時に押します。

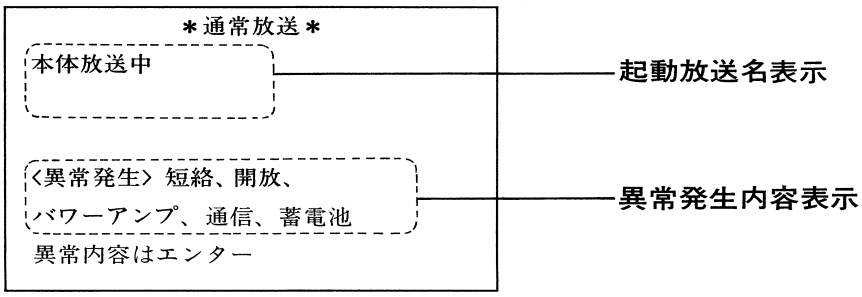
㉑ **非火災放送表示灯**
・非火災放送中であると、点灯します。
非火災放送の自動音声終了後などは点滅します。

㉒ **非火災放送スイッチ**
・非火災放送(火災ではない時の自動音声)を放送する時に押します。

## ㉓ 液晶表示

・通常放送、非常放送時に様々な状況を表示します。
放送していない時は、無表示となります。

液晶表示の表示例




### 起動放送名表示

・どこから放送指示がきているか（起動しているか）を表示します。

**「本体放送中」**
本体からの放送中に表示します。
〔本体とは、ラック本体の通常ブロック選択スイッチ〔緑ネームカード〕、回線選択スイッチ〔白ネームカード〕、放送階選択スイッチ〔紫ネームカード〕によって起動する放送を意味します。〕

**「通常リモコン放送中」**
通常リモコンからの放送中に表示します。

**「非常リモコン放送中」**
非常通常遠隔操作器からの放送中に表示します。

**「BGM放送中」**
BGM入力又はBGMブロック選択スイッチからの放送中に表示します。

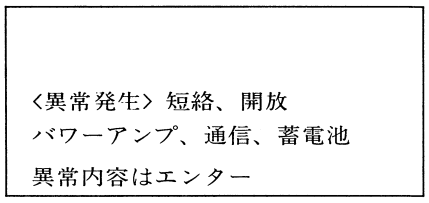
**「ページング放送中」**
ページング入力からの放送中に表示します。

**「W.チャイム放送中」**
W.チャイムからの放送中に表示します。

**「総合操作部放送中」**
2棟以上のシステムで総合操作部より放送された時、表示されます。

### 異常発生内容表示

・異常が発生すると下記のような表示を示し、ブザー(ピーッピーッ)が鳴ります。
ブザー音を止めたい場合には放送復旧スイッチなどのスイッチを押してください。
表示はそのままですが、ブザー音は止まります。




異常が発生すると異常の項目を表示する。

**「短絡」**
スピーカー回線短絡時に⑬の作動表示灯の点滅に加え表示します。

**「開放」**
サービスチェック時スピーカー回線が開放の時⑬の点滅に加え、表示します。

**「パワーアンプ」**
パワーアンプに異常がある時表示します。

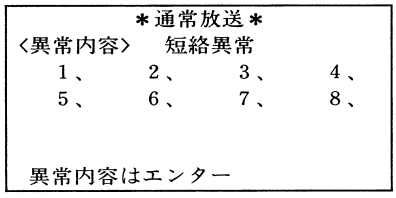
**「通信」**
通信回線に異常が発生すると表示します。

**「蓄電池」**
非常用蓄電池に異常がある時表示します。

### 異常の内容を詳しく確認するには

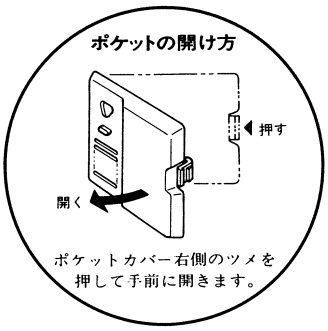
ポケットカバー内のエンタースイッチを押すことで、異常内容を詳しく確認できます。

短絡回線の表示




〝エンター〟を押すと短絡回線を表示する。

# ポケットカバー内の各部の名称とはたらき







❶ **コンピュータースイッチ**
通常は「入」にしてください。

❷ **コンピューターモニター**
コンピューター動作に異常があると点灯します。
コンピューターモニターが点灯した時は、お買い上げ販売店、保守点検業者または、ビクターサービス窓口にご連絡ください。

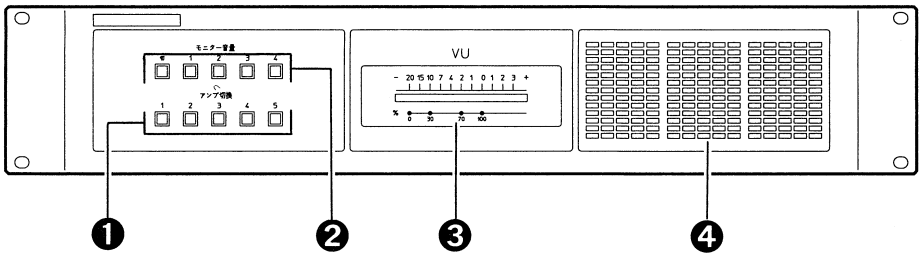
❸ **エンタースイッチ**
異常内容を確認する時押します。

❹ **BGM 音量**
非常通常操作器（EM-E56VD）のBGM入力にCD又はテープレコーダを直接接続した時、BGMの音量を調整できます。
（システムによっては音量の調整ができない場合もあります。）

**ご注意**

**プログラムの書き込み、変更は、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。**

# モニター（EM-S102）の各部の名称とはたらき




❶ **アンプ切換スイッチ**　1～5のうち必要なスイッチを押してください。
1～5の系統のパワーアンプを切り換えてモニターできます。

**ご注意**

- 設置時の接続によっては1～5の中で聞こえないポジションがあります。このポジションにセットすることは避けてください。非常時に聞こえません。（この時も、非常時の自動音声はEM-E56VDよりモニターできます。）
- 2つ以上のスイッチを押した時は、数字の小さい方が優先されます。

❷ **モニター音量**　モニター音量を5段階に切り換えられます。
（数字の大きい方が音量大）

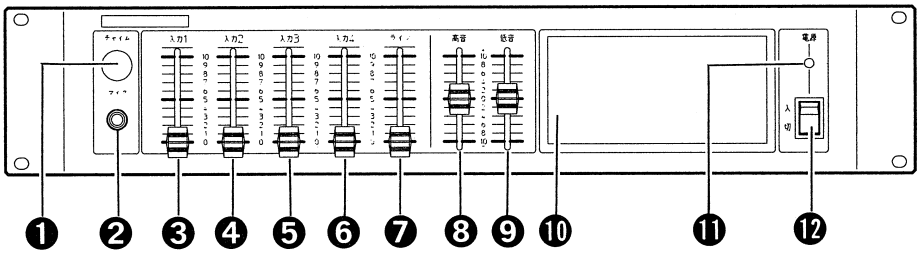
**ご注意**

- 非常放送の時はこのスイッチがどの位置にあっても、あらかじめ設定されている音量になります。
- 2つ以上スイッチを押した時は数字の大きい方の音量になります。
「切」を押しているときは音は出ません。

❸ **放送出力レベル計**　LEDのバーグラフによる出力レベル計です。
赤のLEDが点灯しないように音量を調整してください。

❹ **モニタースピーカー**

# ミキサー(EM-M102)の各部の名称とはたらき




❶ **チャイムスイッチ（DM-2取付時）**
このスイッチを押すと4音チャイムを放送できます。(非常通常操作器EM-E56VDにも4音チャイムが内蔵されています。)

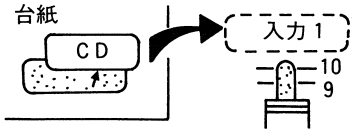
❷ **マイク入力ジャック**
アナウンスマイクを接続すると、通常放送専用のマイクとなります。音量は内部で調整されています。
(マイクロホン別売：MV-P360)

❸ **入力1音量**
❹ **入力2音量**
❺ **入力3音量**
❻ **入力4音量**
❼ **ライン音量**

各入力の音量を調整します。
(使用しない音量つまみは最小にしておいてください。)

**入力ラベルの貼り付け**

ミキサーユニットに添付の入力表示ラベルを、各音量調節器の上に貼り付けてください。




❽ **音質調整(低音)**
❾ **音質調整(高音)**

入力1～4とライン、ラジオの音質を調整します。

❿ **ラジオユニット組み込みスペース**

ラジオユニット(別売：PA-F2-G)の組み込みスペースです。
組み込まれている時は、ラジオユニットの取扱説明書をご参照ください。

⓫ **電源表示灯(緑)**

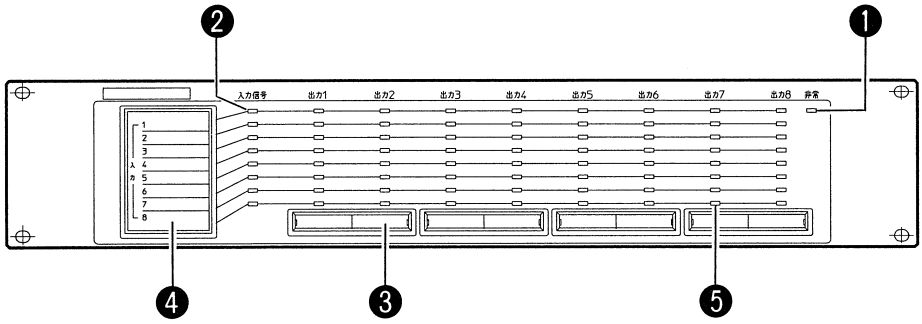
放送中に点灯します。

⓬ **電源スイッチ**

**通常は「切」にしてください。**
「入」にしておくと放送復旧スイッチを押しても、パワーアンプとミキサーは電源が入ったままになります。

# マトリックスコントロールユニット(PA-MX52)の各部の名称とはたらき

マトリックスコントロールユニットは、8つの入力と8つの出力を自由に組み合わせることができるユニットで、BGM機器、通常リモコンマイクなどと組み合わせることで多元放送ができます。(最大4台使用で16入力16出力が可能です。)




❶ **非常放送表示灯(赤色)〔非常放送〕**
非常放送時に点灯します。

❷ **入力信号表示灯(緑色)**
入力1～8の信号が入力されたとき、それぞれの表示灯が点灯します。

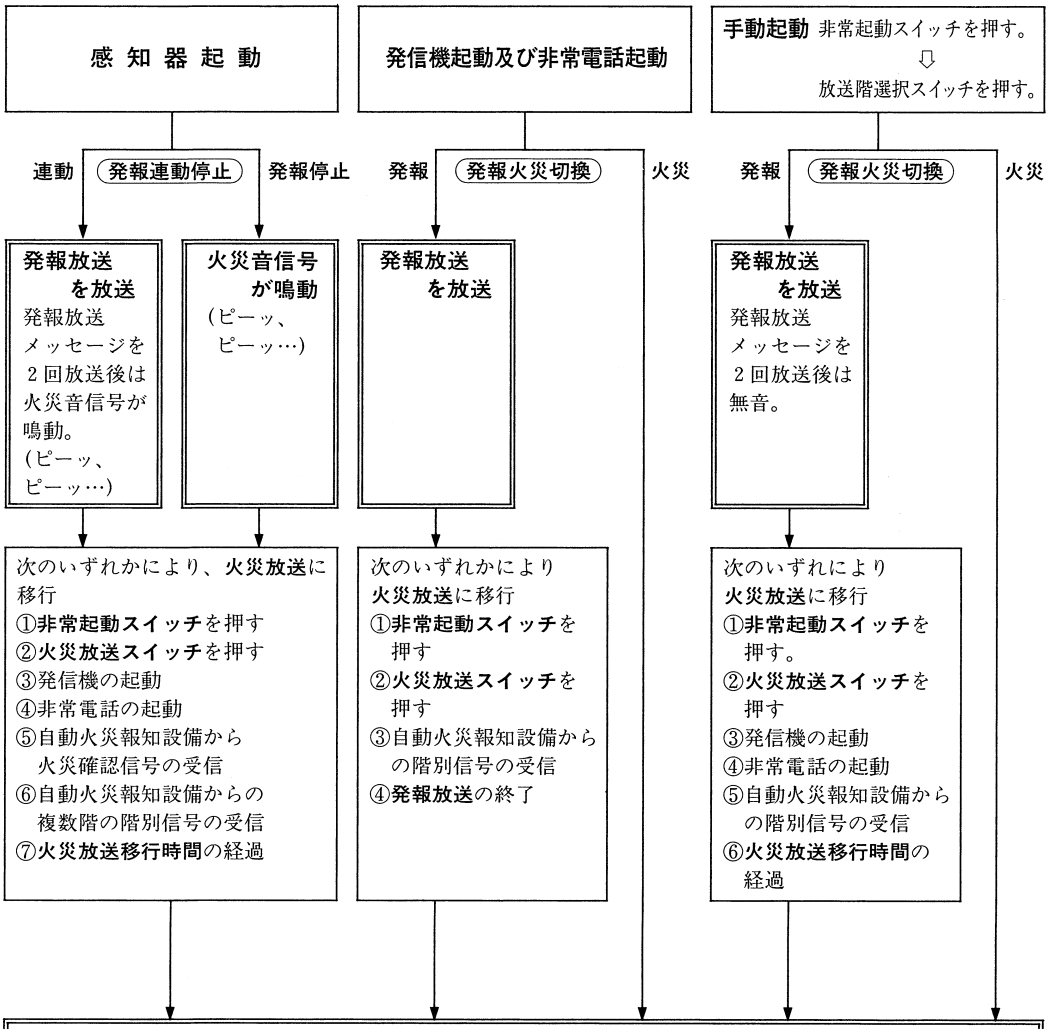
❸ **出力ライン記名シート**〔出力1 ～ 出力8〕
各出力ラインの系統を記入してください。

❹ **入力ライン記名シート**〔入力1 ～ 入力8〕
各入力ラインのソース(音源)を記入してください。

❺ **クロスポイント表示灯(緑色)**
入出力ラインのクロスポイント(64点)を表示します。クロスポイントON(入出力ライン接続)時に点灯(緑色)します。

# 非常放送の動作について

非常放送時には次の流れにしたがって動作します。




**火災放送を放送**

**一斉移行時間**の設定状態によって、次のように動作します。

OFF の場合　　：自動的には全館一斉放送になりません。

0 分の場合　　：**火災放送**に移行すると同時に自動的に全館一斉に**火災放送**が行われます。

2 分～8.5分の場合：**火災放送**に移行した後、一斉移行時間が経過すると自動的に全館一斉に**火災放送**が行われます。

自動的に全館一斉放送になった後は、**放送復旧スイッチ**による放送階の変更操作はできません。

非火災を確認した場合は、**非火災放送スイッチ**を押してください。
**非火災放送**に移行し、非火災放送メッセージを 2 回放送します。

**販売店様へ**

本システムの設定状態を記入のうえ、お客様へお渡しください。
(設定状態を□内に✓印で記入してください。)

**発報連動停止**

□ 連動
□ 発報停止

**発報火災切換**

□ 発報
□ 火災

**火災放送移行時間**

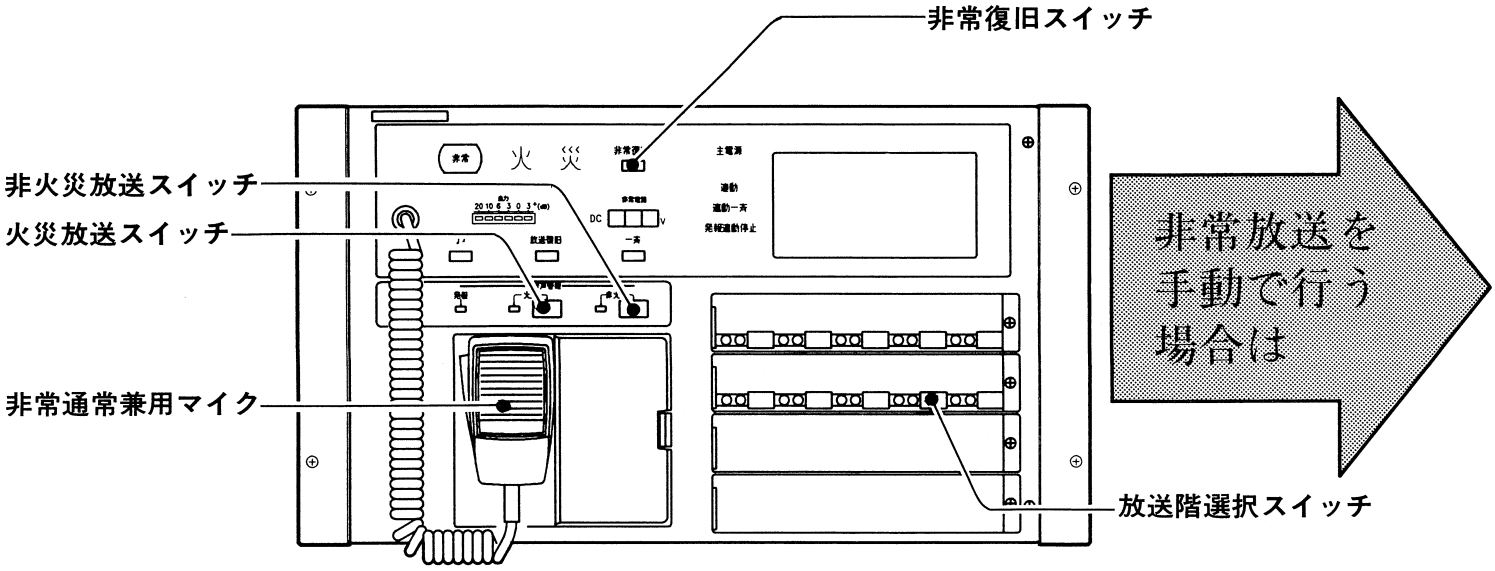
□ 分

**一斉移行時間**

□ OFF
□ 分

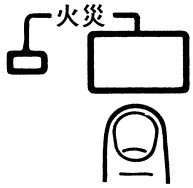
**発報連動停止、発報火災切換、火災放送移行時間、一斉移行時間**はあらかじめお買い上げ販売店が設定しています。
設定内容についてのお問合わせや変更等については、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

# 非常放送のしかた




火災を確認する。

## 火災放送メッセージの放送を行う場合




火災放送スイッチを押す。

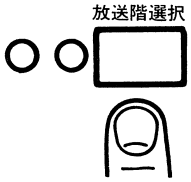
メッセージ内容
「火事です。火事です。
○○で火災が発生しました。
落ち着いて避難してください。」

## 非常マイク放送を行う場合



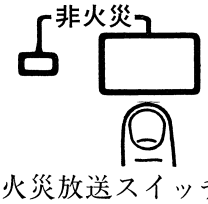

マイクスイッチを押し放送を行う。

## 放送場所の追加を行う場合




追加したい放送場所の放送階選択スイッチを押す。

## 非火災放送メッセージの放送を行う場合

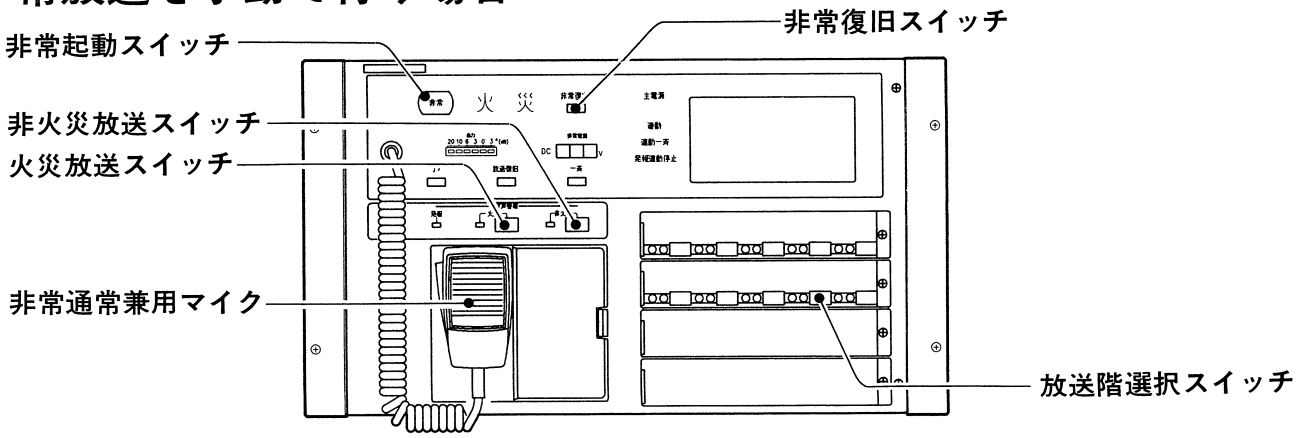



非火災放送スイッチを押す。

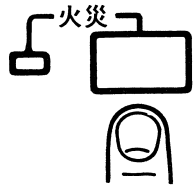
メッセージ内容
「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。
ご安心ください。」

非常放送の復旧時には、**自動火災報知設備の非常状態を解除した後、**非常復旧スイッチを押す。

## 非常放送を手動で行う場合




### 火災放送メッセージの放送を行う場合




火災放送スイッチを押す。

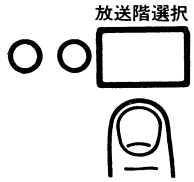
メッセージ内容
「火事です。火事です。
火災が発生しました。
落ち着いて避難してください。」

### 非常マイク放送を行う場合



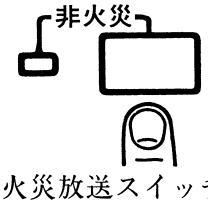

マイクスイッチを押し放送を行う。

### 放送場所の追加を行う場合




追加したい放送場所の放送階選択スイッチを押す。

### 非火災放送メッセージの放送を行う場合




非火災放送スイッチを押す。

メッセージ内容
「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。
ご安心ください。」

非常放送の復旧時には、**自動火災報知設備の非常状態を解除した後、**非常復旧スイッチを押す。

# 自動音声警報の種類と内容について

非常時に、館内の人々に確実に注意を促すために次のメッセージを自動的に放送します。
（次のメッセージは１階の火災感知器が作動したときの例です。）

**発報放送**：シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動放送「ただいま［１階の］（出火階情報）火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」（女声）

**火災放送**：シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動放送「火事です、火事です。［１階で］（出火階情報）火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」（男声）＋スイープ音（フィッフィッフィッ）

**非火災放送**：シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動放送「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」（女声）

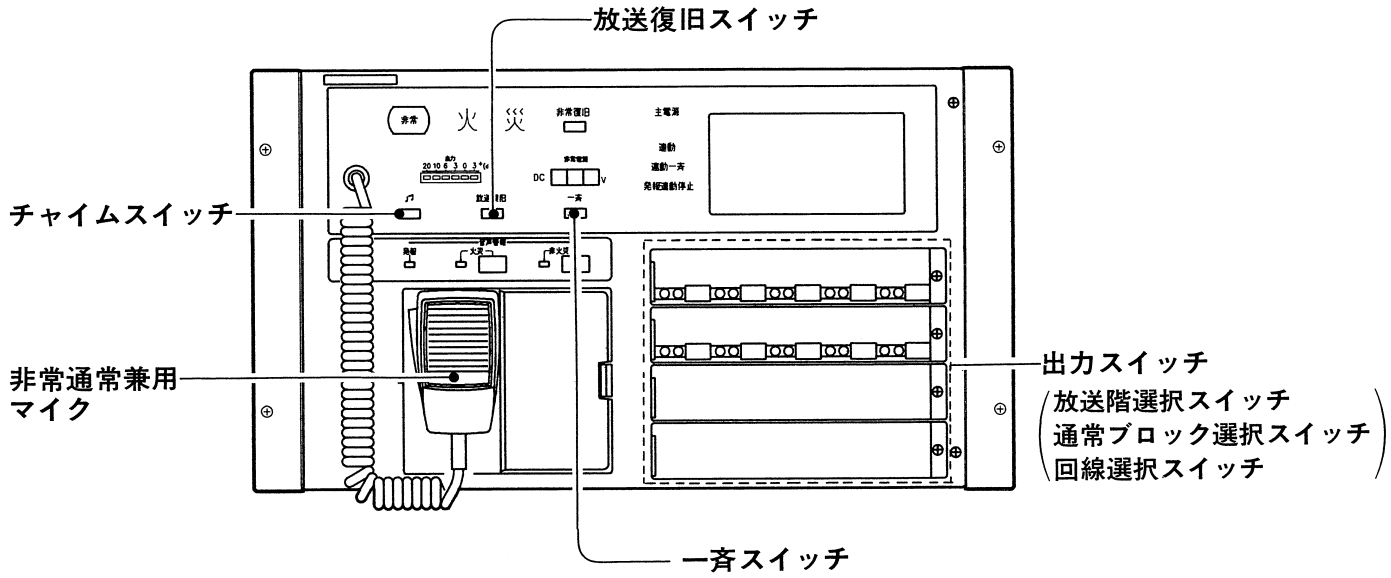
自動火災報知設備からの階別信号の受信がない場合は、**出火階情報**のない自動放送となります。
メッセージの変更は、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご相談ください。

# 通常放送のしかた　出力スイッチを押してから作動表示灯が点灯するのを待って放送してください。

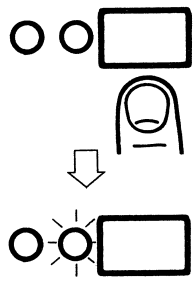
通常放送とは、案内やBGMなど、非常放送以外の一般放送のことです。
本システムでは、非常通常操作器、非常通常遠隔操作器、通常リモコン、ミキサーユニットから通常放送をすることができます。

## 1．非常通常操作器（非常通常遠隔操作器）からのマイク放送

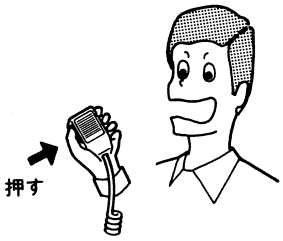
非常通常操作器と非常通常遠隔操作器からは、同じ操作で通常放送ができます。




**1** 放送する場所の**出力スイッチ**(放送階選択スイッチ、通常ブロック選択スイッチ、回線選択スイッチ)
または**一斉スイッチ**を押す。



**2** **非常通常兼用マイク**のマイクスイッチを押し放送を行う。




放送の前後に4音チャイムを鳴らすときは、**チャイムスイッチ**を押す。

**3** 放送を終えるときは、**放送復旧スイッチ**を押す。



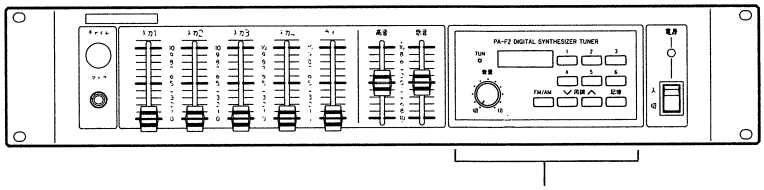

**ご注意**

- 放送終了後、放送復旧スイッチのかわりに、選択した出力スイッチを再度押すと作動表示灯（緑）は消灯しますが、「本放送中」を表示したままで放送中の状態が継続します。放送終了後は必ず放送復旧スイッチを押してください。
- システムや操作方法により、放送できるまで時間がかかる場合があります。出力スイッチを押してから作動表示灯が点灯するのを待って放送してください。

## 2．ミキサーユニットからの放送

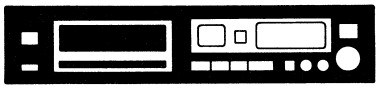
**（マイク、ラジオ、CD、テープレコーダー）**
これ以外の音響機器を使用の場合も同じ手順で操作してください。

**ミキサーユニット　EM-M102**

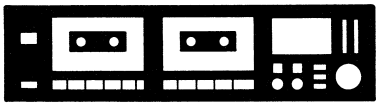


**ラジオチューナーユニット**
**（システムによっては、内蔵していません。）**

CDプレーヤーを放送するとき



テープレコーダーを放送するとき

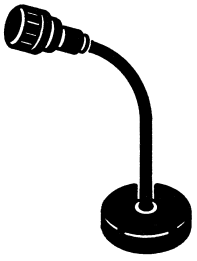


ラジオを放送するとき

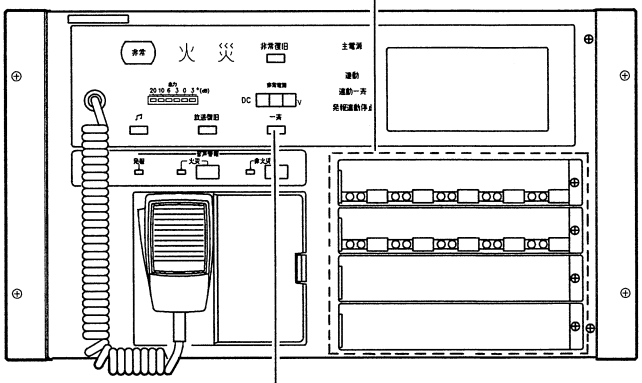


**ラジオチューナーユニット**
**PA-F2-G（別売）**

マイクロホンで放送するとき



放送したい場所の出力スイッチ（放送階選択スイッチ、通常ブロック選択スイッチ、回線選択スイッチ）を押す。



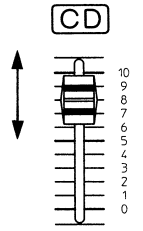

一斉放送するときは、一斉スイッチを押してください。

―― CDプレーヤーやラジオなどの音をモニターするには ――
ミキサーユニットに入力されている機器(CDプレーヤー、テープレコーダー、ラジオなど)は、次の操作を行うことでモニターすることができます。
①出力スイッチ(放送階選択スイッチ、通常ブロック選択スイッチ、回線選択スイッチ)のうちどれかを押す。
②①で押した出力スイッチを再度押す。
　作動表示灯は消灯しますが、ミキサーユニットの電源は入ったままになります。
③モニターしたい機器を演奏させます。
　この状態では、モニターしている音はスピーカー回線へ出力されません。
④モニターを終えるときは、放送復旧スイッチを押す。
システムによっては、この操作を行ってもモニターすることができない場合があります。
モニターしたい場合には、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

**1** CDプレーヤーを演奏させる。

操作方法については、CDプレーヤーの取扱説明書をお読みください。

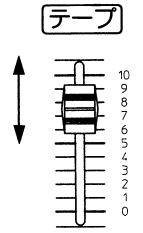
**2** 音量を調整する。



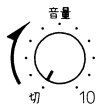

**1** テープレコーダーを演奏させる。

操作方法については、テープレコーダーの取扱説明書をお読みください。

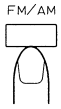
**2** 音量を調整する。




**1** 電源を入れる



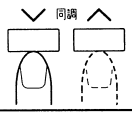

**2** バンドを選ぶ



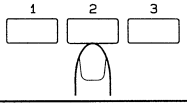

1回押すたび次のように切り替わります。

FM1→FM2→AM

**3** 放送局に合わせる




**3** 選曲ボタンを押す




**4** 音量を調整する




マイクと口との距離を適正に保って放送する。





音量を調整したいときは、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

放送復旧



放送復旧スイッチを押す。

(放送が終了します。)

## 3．ブロック放送について

本システムは非常通常操作器（または非常通常遠隔操作器）からの通常ブロック放送をはじめ、通常リモコン、BGM、ページング、W.チャイムなど、機能別/用途別に任意のスピーカ回線をグループにまとめて放送できる「ブロック放送」機能を持っています。この機能を使用するためにはプログラムの書き込みを行う必要があります。書き込みは設置時に行われていますので、内容の変更がある場合は、お買い上げ販売店や保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

### (1) 通常ブロック放送のしかた

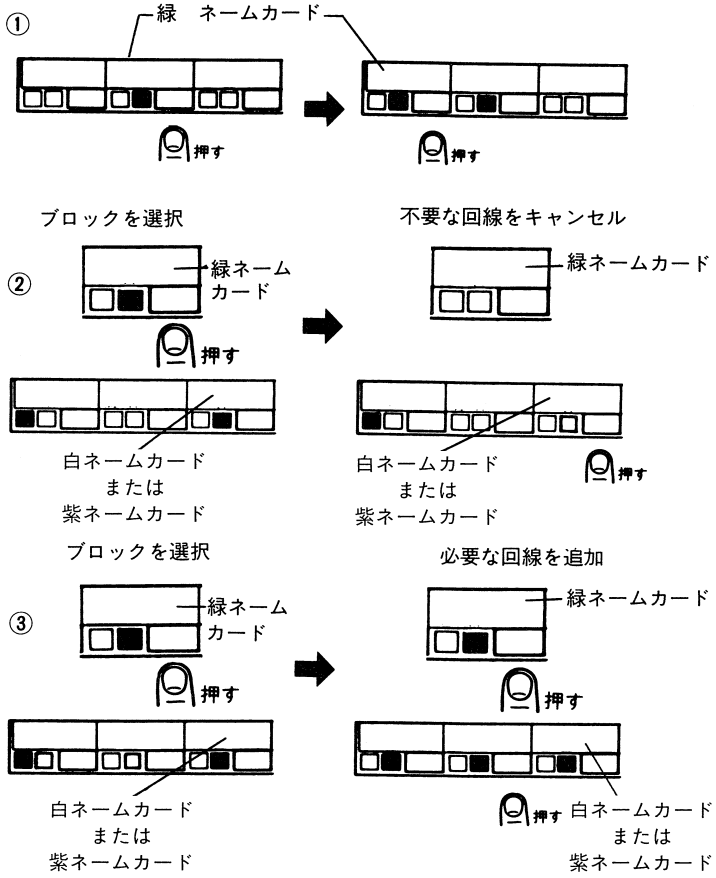
**必要な通常ブロック選択スイッチ［緑ネームカード］を押してください。**

**①2つ以上の通常ブロックを同時に放送したいとき**
必要な通常ブロック選択スイッチ［緑ネームカード］をすべて押してください。

**②グループに指定してある中に放送したくない場所があるとき**
必要な通常ブロック選択スイッチ［緑ネームカード］を押した後で、不要な放送場所の回線選択スイッチ［白ネームカード］または、放送階選択スイッチ［紫ネームカード］を押してください。(不要な放送場所の作動表示灯と、その放送場所を含むブロック選択スイッチの作動表示灯がすべて消灯します。)

**③通常ブロック選択スイッチで選んだ放送場所以外にも放送したいとき**
通常ブロック選択スイッチ［緑ネームカード］を押した後で、必要な放送場所の回線選択スイッチ［白ネームカード］または、放送階選択スイッチ［紫ネームカード］を押してください。

**終わるときは「放送復旧」スイッチを押してください。**

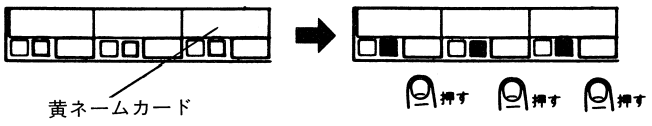



- 非常通常遠隔操作器(EM-C56VD)も本体と同じグループが設定されます。
  従って通常ブロック放送の操作方法は本体とまったく同じです。
- 通常ブロック放送はスイッチごとに緊急放送の指定ができます。この場合はスピーカーの音量調節器がどの位置にあっても最大音量で放送できます。
- 緊急放送に指定された通常ブロック選択スイッチを押した場合は、同時に押した他のスイッチが緊急指定をしていないスイッチでもその場所も緊急放送になりますのでご注意ください。

### (2) BGMのブロック放送について

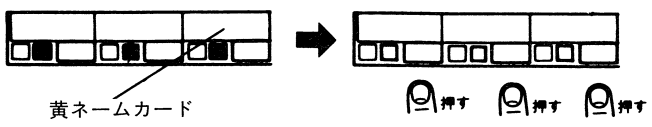
**必要なBGMブロック選択スイッチ［黄ネームカード］を押してください。**

BGMブロック放送は、他の放送が行われていると放送されません。（〝4．通常放送の優先関係について〞を参照。）




**終わる時は、BGMブロック選択スイッチ［黄ネームカード］を再度押してください。**

放送復旧スイッチでは放送解除できません。
BGMプレーヤの電源は使用しない時はOFFしてください。




又、BGM演奏機（MM-D3000シリーズ又はMM-CD50）からの起動でブロック放送ができます。
起動入力数は5ブロックで、グループのプログラムの書き込みをしない時は、動作しません。
BGM放送は緊急指定はできません。

### (3) 通常リモコンのブロック放送について

リモートマイクロホン(PA-C50シリーズ)からのブロック放送です。本体とは別のグループを最大20ブロックまで設定することができます。また本体と同様にブロックごとに緊急指定ができます。
リモートマイクロホンの操作方法はリモートマイクロホンの取扱説明書をご参照ください。

### (4) ページングのブロック放送について(ページングユニットについては構内電話交換機の保守業者様にご相談ください)

ページングユニットからの起動でブロック放送ができます。
起動入力数は5ブロックで、各ブロックごとに緊急指定ができます。

### (5) W.チャイムのブロック放送について

W.チャイムからの起動でブロック放送ができます。
起動入力数は5ブロックで、各ブロックごとに緊急指定ができます。

## 4．通常放送の優先関係について

**非常放送は、最優先となります。**

・優先関係の設定状態については、お買い上げ販売店と良く打ち合わせてください。

**本機では通常放送は下記の優先モードがえらべます。**

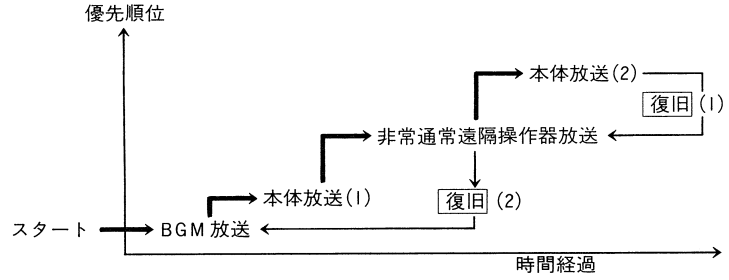
### 基本の優先関係(出荷状態)

| | | |
|---|---|---|
| 1位<br>2位 | 本体放送、非常通常遠隔操作器放送、<br>通常リモコン放送、ページング放送、<br>W.チャイム放送、総合操作部放送 | 1、2位のうちのどちらかに設定できる<br>同順位内は後押し優先 |
| 3位 | BGM放送 | 固定 |

(注) ・本体放送とはラック本体の通常ブロック選択スイッチ［緑ネームカード］回線選択スイッチ［白ネームカード］放送階選択スイッチ［紫ネームカード］による放送を意味します。
・非常通常遠隔操作器放送は非常通常遠隔操作器(EM-C56VD)の通常放送のことです。

**ご注意**

**＊BGM放送は、優先順位の1位，2位の放送が行われている間は受けつけられません。**
**＊1位又は2位の中での優先権は、後からの放送が有効な後押し優先となります。**
**＊放送を復旧した場合は前の放送に戻ります。**




**＊BGM放送→本体放送(1)→非常通常遠隔操作器放送→本体放送(2)の順に放送し、復旧させる場合；本体放送(1)は本体放送(2)のときにキャンセルされているので、パスされてBGM放送に戻ります。**

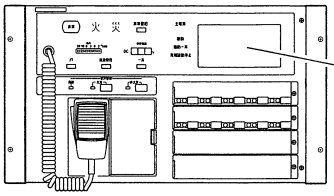
## 5．マトリックスコントロールユニットと多元放送について（PA-MX52）

複合ビルなどで、各ブロックごとに同時に異なる放送（呼び出し、BGMなど）を行うことがあります。このようにブロックごとに同時に別々の放送を行うことを多元放送といいます。この放送を実現するためにマトリックスコントロールユニット（PA-MX52）を使用します。

### 多元放送時の操作について（PA-MX52を使用している場合）

基本的には、15ページ～19ページに記載の操作方法と同じですが、次の点をご注意ください。

・放送の前には、液晶表示で現在行っている放送内容を確認してください。
　非常通常操作器、非常通常遠隔操作器の作動表示灯が点灯していない場合でも、他の放送機器で呼び出し放送や案内放送を行っている場合があります。
　放送の前には、液晶表示で放送内容を確認してください。



（例）

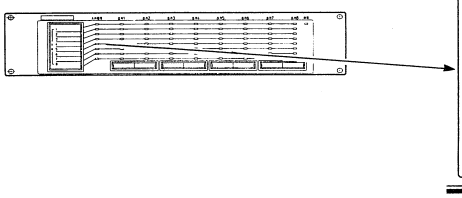
＊通常放送＊
BGM放送中
ページング放送中

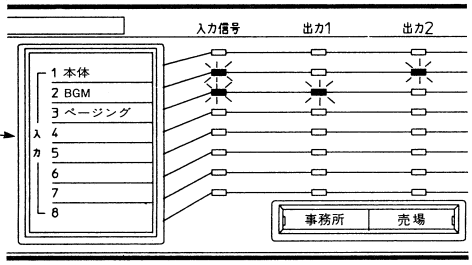
現在、BGM放送とページング放送を同時に行なっています。

現在放送中の放送内容をより詳しく確認するには

マトリックスコントロールユニットのクロスポイント表示灯の点灯により、現在放送中の放送機器と放送先（区域）が、より詳しく確認できます。

（例）



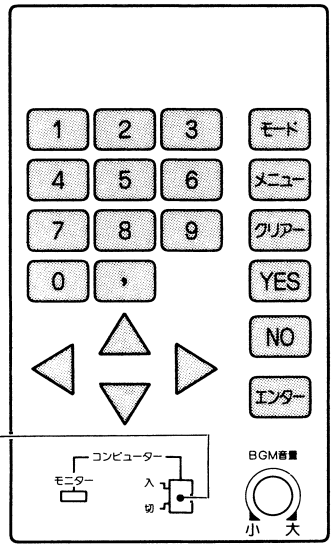




現在、事務所にページング放送を、売場にBGM放送を行なっています。

・システムによっては、BGM放送等を放送中にもかかわらず一時的に放送が切れ無音となる場所が設定される場合があります。
　放送が切れないようにしたい場合は、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

# 緊急時、もし機器が動かなくなったら

①万一、機器が正常に動作しなくなった場合、放送が必要であれば、非常通常操作器（EM-E56VD）のポケットカバー内、コンピュータースイッチを“切”にしてください。
　非常通常操作器（EM-E56VD）の非常通常兼用マイクで一斉放送をすることができます。（このときブザー“ピー”音が鳴りつづけます）
②放送が終了しましたら、コンピュータースイッチを“入”にして速やかにお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口に故障の状態をご連絡ください。



# 日常点検について

非常時に的確に機器が動作するように日常点検を行ってください。
異常を発見したときは、ただちにお買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

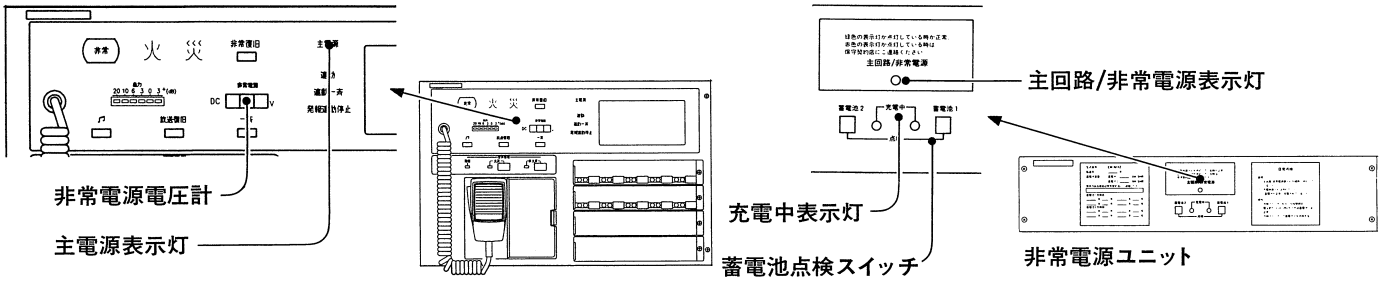
## 1．電源の点検について

電源の点検は次のように行ってください。

**手 動 点 検 の 方 法**

| 項　　目 | 確　　認　　内　　容 | 正　　常 | 異　　常 |
|---|---|---|---|
| ①主電源の点検 | 非常通常操作器の**主電源表示灯**を確認する。 | 緑色に点灯 | 消灯 |
| ②非常電源の点検 | 非常通常操作器の**非常電源電圧計**を確認する。 | 24～29Vを表示 | 24～29V以外を表示 |
| ③主回路の点検 | 非常電源ユニットの**主回路／非常電源表示灯**を確認する。 | 緑色に点灯 | 赤色に点灯 |
| ④充電回路の点検 | 非常電源ユニットの**充電中表示灯**を確認する。 | 緑色に点灯 | 消灯 |
| ⑤非常用蓄電池の点検 | 非常電源ユニットの**蓄電池点検スイッチ**を３～５秒間押し、**主回路／非常電源表示灯**を確認する。 | 緑色に点灯 | 赤色に点灯 |

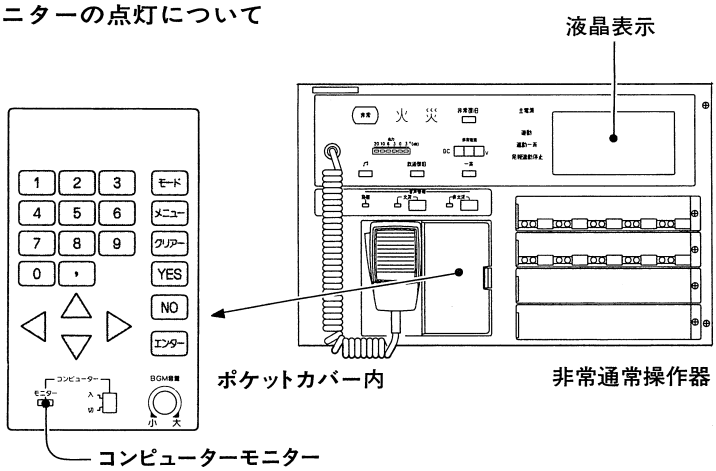
異常の時はすみやかにお買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
警告音を停止したい場合は、放送復旧スイッチを押してください。




## 2．液晶表示の異常発生内容の表示とコンピューターモニターの点灯について

本機はコンピューターによる自動診断機能を搭載し、機器の状態を監視しています。
**液晶表示**に異常発生内容が表示されている場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご連絡ください。
また、**コンピューターモニター**が点灯している場合もすみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご連絡ください。

異常発生時は警告音が鳴ります。
警告音を停止するには放送復旧スイッチを押してください。




**自 動 診 断 機 能 の 内 容**

| 項　　目 | 内　　容 | 異常発生時の表示場所とその内容 |
|---|---|---|
| スピーカー回線の短絡の監視 | 放送中、スピーカー回線の短絡を監視します。 | **液晶表示**の表示内容<br>〈異常発生〉短絡 |
| リモコン回線の監視 | 常時、非常通常遠隔操作器との通信状況を監視します。 | **液晶表示**の表示内容<br>〈異常発生〉通信 |
| 非常用蓄電池の点検 | 24時間ごとに非常用蓄電池を放電させ電圧を点検します。 | **液晶表示**の表示内容<br>〈異常発生〉蓄電池 |
| パワーアンプの動作の監視 | 常時、パワーアンプの動作を監視します。 | **液晶表示**の表示内容<br>〈異常発生〉パワーアンプ |
| コンピューターの動作の監視 | 常時、本機内蔵のコンピューターの動作を監視します。 | ポケットカバー内の**コンピューターモニター**赤色に点灯 |

# 仕様

本システムの構成機器の許容動作温度範囲は 0 ℃ ～ 40 ℃ です。
本機の定格及び外観は、改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

## EM-S102　モニタユニット

| | |
|---|---|
| 入力レベル | 100V定電圧ライン(電力増幅器出力を受ける) |
| 入力回路数 | 5回路 |
| 定格出力 | 1W(モニター音量最大時) |
| 音量調節器 | 非常時プリセット4段、通常時5段切換 |
| モニタースピーカー | 12.5×7.85cm 楕円スピーカー |
| 出力監視メーター | 11点 LED バーグラフ |
| 電源 | DC 24V、60mA(共通制御ラインより供給を受ける) |
| マウントサイズ | EIA 2H、奥行65mm (パネル面より) |
| 質量 | 1.3kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6 0.6 近似) (日塗工 S1-1005 近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ88×奥行65 mm (パネル面より) |

## EM-M102　ミキサーユニット

| 入力回路 | 入力レベル | 入力インピーダンス | コネクター |
|---|---|---|---|
| 入力1・2・3 | マイク/ライン切換 −60dBs/−10dBs | 1kΩ 電子平衡 | 複式フォノジャック |
| 入力4 | フォノ/ライン 切換 −54dBs(RIAA) /−10dBs | 50kΩ | 複式フォノジャック ピンジャック(L・R) |
| アナウンスマイク | −50dBs(AGC付) | 10kΩ | フォノジャック |
| ライン | −10dBs | 10kΩ | ピンジャック(L・R) |
| W・チャイム | −6dBs | 1kΩ 平衡 | 複式フォノジャック |
| リモコンマイク | 0dBs | 1kΩ 平衡 | 複式フォノジャック |
| ラジオ | −10dBs | 50kΩ | 専用コネクター |
| 4音チャイム | −16dBs | 50kΩ | 専用コネクター |
| 出力回路 | 出力レベル | 出力インピーダンス | コネクター |
| ライン出力 | 0dBs | 300Ω 平衡 | 複式フォノジャック |
| 録音出力 | 0dBs | 1kΩ | ピンジャック(L・R) |
| 音質調節 | 低音、高音独立 (100Hz、10kHz ±12dB) | | |

| | |
|---|---|
| 周波数特性 | 50Hz～15kHz ±2dB |
| 歪率 | 0.5%以下 (50Hz～15kHz) |
| 信号対雑音比 | 54dB以上 |
| 電源 | DC 24V、30mA(共通制御ラインより供給を受ける) |
| マウントサイズ | EIA 2H、奥行200mm (パネル面より) |
| 質量 | 3kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6/0.6 近似) (日塗工 S1-1005 近似) |
| 4音チャイム | DM-2 組込可能 |
| AM / FM ラジオ | PA-F2-G 組込可能 |
| アナウンスマイク | MV-P360適合 |
| 外形寸法 | 幅482×高さ88×奥行200 mm (パネル面より) |

## EM-E12　回線追加ケース

| | |
|---|---|
| 回線数 | 回線追加ユニット(EM-E5)4個まで組込可 (追加5×4＝20) |
| マウントサイズ | EIA 2H、奥行70mm(パネル面より) |
| 電源 | DC24V、20mA(EM-E56VDより供給を受ける) |

| | |
|---|---|
| EM-E5 | 1台取付時 28mA |
| EM-E5 | 2台取付時 36mA |
| EM-E5 | 3台取付時 44mA |
| EM-E5 | 4台取付時 52mA |

| | |
|---|---|
| 質量 | 2kg (EM-E12) |

| | |
|---|---|
| EM-E5 | 1台取付時 2.1kg |
| EM-E5 | 2台取付時 2.2kg |
| EM-E5 | 3台取付時 2.3kg |
| EM-E5 | 4台取付時 2.4kg |

| | |
|---|---|
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6/0.6 近似) (日塗工 S1-1005 近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ88×奥行70 mm (パネル面より) |

# EM-N112　非常電源ユニット

| | |
|---|---|
| 充電部 | |
| 充電方式 | トリクル充電 |
| 点検スイッチ | ノンロックプッシュ式(プッシュ時、放電抵抗を接続して蓄電池電圧を点検) |
| 充電中表示灯 | 2個付(発光ダイオード) |
| 蓄電池部 | |
| 使用蓄電池 | 密閉ニッケルカドミウム蓄電池<br>NB-60またはNB-35B型2台まで収容可能 |
| 蓄電池容量 | NB-60型　DC 24V、6AH/5HR、<br>充電電流　160mA<br>NB-35B型 DC 24V、3.5AH/5HR、<br>充電電流　100mA<br>(古河電池製) |
| 検定 | 蓄電池設備認定委員会合格品 |
| AC動作時 | 1) 常時蓄電池の充電を行なう<br>2) 制御用電流容量<br>DC 24V 最大1.6A(共通制御ライン) |
| DC動作時 | 1) 停電時(含非常時)制御用電流<br>2) 非常で停電時のみ「蓄電池出力端子」に電流を供給する |

| | |
|---|---|
| 定格放電電流 | |

| 使用周囲温度 | 0～+40℃ | −10～+40℃ |
|---|---|---|
| NB-60型/1本 | 14A(10分) | 13A(10分) |
| NB-35B型/1本 | 8A(10分) | — |

| | |
|---|---|
| 許容動作温度範囲 | 0～+40℃または−10～+40℃ |
| 電源 | AC 100V、50/60Hz |
| 消費電力 | 70W(MAX) |
| マウントサイズ | EIA 2H、奥行300mm(パネル面より) |
| 質量 | 6kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y 6/0.6 近似)<br>(日塗工 S1-1005 近似) |
| その他 | パネルを開閉することにより前面から蓄電地交換可能 |
| 外形寸法 | 幅482×高さ88×奥行300 mm |

# EM-P11 主電源ユニット

| | |
|---|---|
| 電源供給部 | |
| AC100V 入力 | 30A サーキットブレーカー×1 |
| AC100V 出力 | スイッチ連動　：9 (合計最大8A×3)<br>スイッチ非連動：3 (合計最大3A) |
| 電源起動端子 | 付(メーク接点)<br>2Pモレックス×2、端子板×1回路 |
| 電源 | AC100V、50/60Hz |
| 消費電力 | 5W |
| マウントサイズ | EIA 1H、奥行300mm(パネル面より) |
| 質量 | 3kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y 6/0.6 近似)<br>(日塗工 S1-1005 近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ44×奥行300mm |

# EM-P22　追加DCユニット

| | |
|---|---|
| 出力電圧・容量 | DC24V、3.2A |
| 電源 | AC100V、50/60Hz(EM-P11より受電) |
| 消費電力 | 112W |
| マウントサイズ | EIA 2H、奥行200mm(パネル面より) |
| 質量 | 5.7kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル3Y6/0.6、日塗工S1-1005近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ88×奥行200mm |

# EM-E5　回線追加ユニット

| | |
|---|---|
| 回線数 | 5回線 |
| 組込対象ユニット | 非常通常操作器(EM-E56VD)<br>回線追加ケース(EM-E12)<br>非常通常遠隔操作器(EM-C56VD) |
| 電源 | DC24V、8mA<br>(EM-E12より供給を受ける) |
| 外形寸法 | 幅190×高さ33×奥行34mm |
| 質量 | 100 g |
| 付属品 | アクリルパネル |

# EM-E56VD　非常通常操作器

| | |
|---|---|
| 出力制御 | 10および一斉<br>回線追加ユニット(EM-E5)2個まで増設可<br>(標準10＋追加5×2＝20) |
| ブロック放送 | 出力スイッチ5個単位で、非常ブロック、<br>通常ブロック、BGMブロック設定可 |
| 自火報連動切換 | 連動、連動一斉の2ポジション |
| 火災音信号 | 電子ブザー |
| 音声警報音 | 非常用放送設備委員会認定音 |
| 操作スイッチ | 非常起動、非常復旧、一斉、放送復旧、<br>チャイム、火災放送、非火災放送 |
| 表示灯 | 火災灯、出火階表示灯、作動表示灯、<br>主電源、連動/連動一斉<br>発報連動停止、発報放送、火災放送、<br>非火災放送 |
| 液晶表示<br>128文字<br>(16文字×8行) | 起動表示(本体、非常リモコン、通常リモコン、<br>ページング、W.チャイム、<br>BGM、総合操作部)<br>警報表示(蓄電池異常、パワーアンプ異常、<br>回線短絡、回線開放、通信異常)<br>操作ガイド(非常放送操作ガイド、書込操作<br>ガイド) |
| 非常電源電圧計 | 付(デジタル表示、精度：±2%以内) |
| 出力監視計 | 6点LED |
| モニタースピーカー | 出力0.45W、音量調節器付、ハウリング防<br>止回路付 |
| 内蔵チャイム | 4音チャイム |

| ミキサー部 | レベル | インピーダンス | コネクター |
|---|---|---|---|
| ミキサー(EM-M102)入力 | 0dBs/100kΩ (−20dBs) | | フォノジャック |
| アナウンスマイク入力 | (AGC)−42dBs | 10kΩ | メタルコネクター |
| W.チャイム入力 | −10dBs | 5kΩ | フォノジャック |
| ボイスファイル入力 | 0dBs | 1.5kΩ 平衡 | フォノジャック |
| ページング入力 | −10dBs | 2kΩ 平衡 | フォノジャック |
| BGM入力 | 0dBs/ (−20dBs) | 1.5kΩ 平衡 | フォノジャック |
| 非常リモコン入力 | 0dBs | 20kΩ 平衡 | 端子板(EM-Y52) |
| 通常リモコン入力 | 0dBs | 20kΩ 平衡 | 端子板(EM-Y52) |
| 総合操作器音声入力 | 0dBs | 2kΩ 平衡 | 端子板(EM-Y52) |
| サブ入力 | 0dBs | 1.5kΩ 平衡 | フォノジャック |
| メイン出力 | 0dBs | 100Ω 平衡 | フォノジャック |
| サブ出力 | 0dBs | 100Ω 平衡 | フォノジャック |
| モニター音声出力 | ＋6dBs | 20Ω 平衡 | 端子板(EM-Y52) |

| | |
|---|---|
| 周波数特性 | 50Hz～15kHz ±2dB(アナウンスマイクを除く) |
| 歪率 | 1%以下 |
| アナウンスマイク | ダイナミック型、ハンドマイク付属 |
| 電源 | DC 24V, 440mA<br>(非常電源部より供給を受ける) |
| マウントサイズ | EIA 6H,奥行70mm(パネル面より) |
| 質量 | 6.9kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y6/0.6 近似)<br>(日塗工 S1-1005 近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ266×奥行70mm |

# EM-Y52　主入力制御ユニット

| | |
|---|---|
| 入力端子 | 非常通常遠隔操作器：3回路(端子板)<br>通常リモコン：20回線(端子板)<br>BGM起動：5回線(端子板)<br>ページング起動：5回線(端子板)<br>W.チャイム起動：5回線(端子板) |
| 出力端子 | EB端子：メーク1回路(端子板)<br>RB端子：通常時 DC24V(300mA)<br>非常時無電圧出力(端子板)<br>非常信号：メーク、ブレーク、コモン<br>(接点容量 DC24V, 2A)(端子板) |
| 総合操作器接続端子 | SD(H.C), RD(H.C), E,<br>音声入力(H.C), 音声出力(H.C) |
| 電源 | DC24V, 120mA<br>(非常電源部より供給を受ける) |
| マウントサイズ | EIA 2H、奥行372mm(パネル面より) |
| 質量 | 4.5kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y6/0.6 近似)<br>(日塗工 S1-1005 近似) |
| 外形寸法 | 幅402×高さ86×奥行323mm |

# EM-Y522　回線制御ユニット

| | |
|---|---|
| 入力端子 | 自火報入力：20回線(端子板)<br>パワーアンプ入力：4回路(端子板) |
| 出力端子 | スピーカー出力：SPN, SPR, SPC<br>20回線(端子板) |
| 電源 | DC24V, 500mA<br>(非常電源部より供給を受ける) |
| マウントサイズ | EIA 2H, 奥行372mm(パネル面より) |
| 質量 | 4.5kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y6/0.6 近似)<br>(日塗工 S1-1005 近似) |
| 外形寸法 | 幅402×高さ86×奥行323mm |

# PA-MX52　マトリックスコントロールユニット

| | |
|---|---|
| 入力回路 | |
| 音声入力1～8 | 0dBs/−20dBs(スイッチ切換)、10kΩ平衡、フォノジャック |
| 追加音声入力1～8 | 0dBs, 10kΩ不平衡、フォノジャック |
| 非常入力 | 音声入力1を兼用 |
| 音量調節 | 各入力にVR付(フロントパネル調整穴より) |
| レベル設定スイッチ | スライドスイッチ(フロントパネル調整穴より) |
| 出力回路 | |
| 音声出力1～8 | 0dBs, 600Ω平衡、フォノジャック |
| 追加音声出力1～8 | 音声入力回路と並列接続 |
| 制御 | |
| 手動制御 | 出力選択スイッチ(8ビットディップスイッチ)8個付 |
| 外部制御 | 制御数8、専用コネクター(メーク信号) |
| 非常制御 | 非常時全出力を音声入力1に強制切換(共通制御ラインによる) |
| バス制御 | EM-E56VD非常通常操作器用専用バス(20Pフラットケーブル)<br>4台(16入力×16出力MAX)まで制御可(3台は不可) |
| 制御切換 | 背面スライドスイッチ(外部/自動/手動) |
| 表示 | |
| 入力信号表示 | 緑色LED点滅 |
| クロスポイント表示 | 緑色LED |
| 非常表示 | 赤色LED |
| 周波数特性 | 50Hz～20kHz ±3dB |
| 歪率 | 0.1%以下 |
| クロストーク | 60dB以上(1kHz) |
| 電源 | AC100V 50/60Hz、<br>DC24V(非常時専用非常電源より供給) |
| 消費電力(電気用品取締法) | 7.0W、DC150mA(DC24V非常時) |
| マウントサイズ | EIA 2H、奥行200mm(パネル面より) |
| 質量 | 4.0kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y6/0.6近似)<br>(日塗工 S1-1005近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ88×奥行200mm |

# EM-V52D　音声警報ユニット

| | |
|---|---|
| 音声警報 | 発報放送、火災放送、非火災放送<br>(操作部、表示部はEM-E56VDに組み込み) |
| ボイスファイル | VSIC方式 |
| 階別信号入力(EL) | 59(端子板)<br>地下5階～地下1階、1階～47階、屋上、エレベーター、階段、地下階、駐車場、塔屋、出火階情報なしに対応 |
| 火災確認信号入力(EF) | 1(端子板) |
| 非常通常遠隔操作器用コントロール入出力 | 3回路(端子板) |
| 音声出力 | 0dBs 平衡(トランス付) |
| 電源 | DC24V、44mA<br>(非常電源部より供給を受ける) |
| マウントサイズ | EIA 2H、奥行372mm(パネル面より) |
| 質量 | 4.5kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y6/0.6近似)<br>(日塗工 S1-1005近似) |
| 外形寸法 | 幅402×高さ86×奥行323mm |

# EM-A083　80Wパワーアンプ

| | |
|---|---|
| 適合規格 | 建設省規格Ⅰ級 |
| 定格出力 | 80W |
| 最大出力 | 100W |
| 負荷インピーダンス | 125Ω(100V定電圧ライン) |
| 周波数特性 | 50Hz～15kHz(+0/−3dB) |
| 歪率(1kHz) | 1%以下 |
| 入力レベル | 0dBs(=0.775V) ±5dB可変 |
| 入力インピーダンス | 75kΩ(電子平衡) |
| 信号対雑音比 | 75dB以上(電力増幅器単品測定) |
| 電源 | AC 100V、50/60Hz<br>DC 24V(停電時、非常電源部より供給を受ける) |
| 消費電力(電気用品取締法) | 63W、定格出力時162W |
| 消費電流 | 4.6A(DC24V、定格出力時) |
| マウントサイズ | EIA 3H、奥行200mm(パネル面より) |
| 質量 | 10kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y 6/0.6近似)<br>(日塗工 S1-1005近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ132×奥行200mm<br>(パネル面より) |

# EM-A163　160W パワーアンプ

| | |
|---|---|
| 適合規格 | 建設省規格Ⅰ級 |
| 定格出力 | 160W |
| 最大出力 | 200W |
| 負荷インピーダンス | 63Ω(100V定電圧ライン) |
| 周波数特性 | 50Hz～15kHz(+0/−3dB) |
| 歪率(1kHz) | 1%以下 |
| 入力レベル | 0dBs(=0.775V)±5dB可変 |
| 入力インピーダンス | 75kΩ(電子平衡) |
| 信号対雑音比 | 75dB以上(電力増幅器単品測定) |
| 電源 | AC 100V、50/60Hz<br>DC 24V(停電時、非常電源部より供給を受ける) |
| 消費電力<br>(電気用品取締法) | 114W、定格出力時321W |
| 消費電流 | 9.3A(DC24V、定格出力時) |
| マウントサイズ | EIA 3H、奥行200mm(パネル面より) |
| 質量 | 11.5kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y 6/0.6 近似)<br>(日塗工 S1-1005 近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ132×奥行200mm<br>(パネル面より) |

# EM-A244　240W パワーアンプ

| | |
|---|---|
| 適合規格 | 建設省規格Ⅰ級 |
| 定格出力 | 240W |
| 最大出力 | 300W |
| 負荷インピーダンス | 42Ω(100V定電圧ライン) |
| 周波数特性 | 50Hz～15kHz(+0/−3dB) |
| 歪率(1kHz) | 1%以下 |
| 入力レベル | 0dBs(=0.775V)±5dB可変 |
| 入力インピーダンス | 75kΩ(電子平衡) |
| 信号対雑音比 | 75dB以上(電力増幅器単品測定) |
| 電源 | AC 100V　50/60Hz<br>DC 24V(停電時、非常電源部より供給を受ける) |
| 消費電力<br>(電気用品取締法) | 178W、定格出力時488W |
| 消費電流 | 14.1A(DC24V、定格出力時) |
| マウントサイズ | EIA 4H、奥行100mm(パネル面より) |
| 質量 | 15kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y 6/0.6 近似)<br>(日塗工 S1-1005 近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ177×奥行200mm<br>(パネル面より) |

# EM-A364　360W パワーアンプ

| | |
|---|---|
| 適合規格 | 建設省規格Ⅰ級 |
| 定格出力 | 360W |
| 最大出力 | 420W |
| 負荷インピーダンス | 28Ω(100V定電圧ライン) |
| 周波数特性 | 50Hz～15kHz(+0/−3dB) |
| 歪率(1kHz) | 1%以下 |
| 入力レベル | 0dBs(=0.775V)±5dB可変 |
| 入力インピーダンス | 75kΩ(電子平衡) |
| 信号対雑音比 | 75dB以上(電力増幅器単品測定) |
| 電源 | AC 100V、50/60Hz<br>DC 24V(停電時、非常電源部より供給を受ける) |
| 消費電力<br>(電気用品取締法) | 230W、定格出力時666W |
| 消費電流 | 19.5A(DC24V、定格出力時) |
| マウントサイズ | EIA 4H、奥行200mm(パネル面より) |
| 質量 | 18kg |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装<br>(マンセル 3Y 6/0.6 近似)<br>(日塗工 S1-1005 近似) |
| 外形寸法 | 幅482×高さ177×奥行200mm<br>(パネル面より) |

## PA-R641　側開式ラックケース

| | |
|---|---|
| ユニット取付方法 | 1,826mm(EIA 41 ユニット) |
| ユニット取付最小間隔 | 44mm |
| 質量 | 約55kg |
| 仕上 | ホワイト色素塗装<br>(マンセル7.5Y8.5/1近似)<br>(日塗工 T27-85B相当(1995年)) |
| 外形寸法 | 幅570×高さ2,000×奥行455mm |

## PA-R631　ミニラックケース

| | |
|---|---|
| ユニット取付寸法 | 1,335mm(EIA 30 ユニット) |
| ユニット取付最小間隔 | 44mm |
| 質量 | 約40kg |
| 仕上 | ホワイト色素塗装<br>(マンセル7.5Y8.5/1近似)<br>(日塗工 T27-85B相当(1995年)) |
| 外形寸法 | 幅570×高さ1,510×奥行455mm |

## PA-U1V　ベンチレートパネル

| | |
|---|---|
| マウントサイズ | EIA 1H |
| 質量 | 200g |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装（マンセル3Y6/0.6近似、日塗工 S1-1005 近似） |
| 外形寸法 | （幅）482×（高さ）44×（厚さ）15mm |

## PA-U1, PA-U2, PA-U3　ブランクパネル

| | |
|---|---|
| 質量 | PA-U1……270g<br>PA-U2……460g<br>PA-U3……650g |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装(マンセル3Y6/0.6近似) |
| 外形寸法 | PA-U1……(幅) 482×(高さ) 44×(厚さ) 15mm<br>PA-U2……(幅) 482×(高さ) 88×(厚さ) 15mm<br>PA-U3……(幅) 482×(高さ) 132×(厚さ) 15mm |

## PA-U113　ラックマウント金具(カセットデッキ用)

| | |
|---|---|
| 適合機種 | カセットテープデッキ(TD-W603MKⅡ) |
| マウントサイズ | EIA 3H |
| 質量 | 900g |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装（マンセル3Y6/0.6近似、日塗工 S1-1005 近似） |

## PA-U123　ラックマウント金具(CDプレーヤー用)

| | |
|---|---|
| 適合機種 | CDプレーヤー(XL-M603) |
| マウントサイズ | EIA 3H |
| 質量 | 900g |
| 仕上 | ライトグレー焼付塗装（マンセル3Y6/0.6近似、日塗工 S1-1005 近似） |

EM-E504VDシリーズ　インテリジェントPAシステム

## 本システムに関するお問い合わせは

お買い上げ販売店名

☎　　－　　－

保守点検業者名

☎　　－　　－

お客様ご相談センター

東　京

☎(03)5684-9311［代表］

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大　阪

☎(06) 765-4161［代表］

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

Victor　JVC

日本ビクター株式会社

システム事業部

〒192 東京都八王子市石川町2969－2 電話（0426）60－7243（ダイヤルイン）

© 1996 VICTOR COMPANY OF JAPAN,LTD.

SS961188-001